

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成30年												平成31年														
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月 ~3日	3月 ~10日	3月 ~17日	3月 ~24日	3月 ~31日	4月 ~7日	4月 ~14日	4月 ~21日	4月 ~28日	5月 ~5日	5月 ~12日	5月 ~19日	5月 ~26日
カンピロバクター	37	39	48	105	75	71	122	98	160	113	109	109	56	46	22	17	14	23	22	17	21	18	9	8	26	0 (21)	0
病原性大腸菌	66	51	44	98	78	83	111	80	73	69	119	157	85	81	14	10	14	16	23	19	13	20	17	7	17	12	14
腸管出血性大腸菌	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	3	1	1	5	3	20	12	22	13	9	5	13	5	3	0	4	4	2	1	0	1	1	4	0	1	1	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	11	7	24	10	10	16	26	20	17	22	19	10	9	3	3	4	0	2	3	5	3	2	0	4	1 (3)	7
黄色ブドウ球菌 MRSA	12	11	13	12	12	17	14	11	18	7	18	22	22	16	6	1	4	4	7	3	6	3	2	1	5	1	4
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
その他	0	7	5	3	1	2	4	2	2	1	3	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	2	11	18	50	10	0	0	0	0	0	0	1	2	3	1	0	0	1	0	0	4	4	1	0	2	1	1
アデノウイルス	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	
ノロウイルス	13	13	17	4	4	2	3	0	0	0	6	23	23	23	0	3	3	3	2	2	3	2	4	0	1	1	0

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

広島県感染症発生動向週報

令和元年第21週(5月20日~5月26日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	11	結核	11			2	1	1	6	1
三類	0	発生なし	0							
四類	3	日本紅斑熱	1			1				
		レジオネラ症	2	1			1			
五類全数	14	ウイルス性肝炎(E型, A型除く)	1					1		
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1				1			
		急性脳炎	1					1		
		水痘(入院例)	1	1						
		侵襲性肺炎球菌感染症	2					2		
		梅毒	4					4		
		百日咳	3				2	1		
麻疹	1							1		

注) 西部…大竹市, 廿日市市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町, 安芸高田市, 安芸太田町, 北広島町, 江田島市
西部東…竹原市, 東広島市, 大崎上島町
東部…三原市, 尾道市, 世羅町, 府中市, 神石高原町
北部…三次市, 庄原市

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第21週 5/20~5/26)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

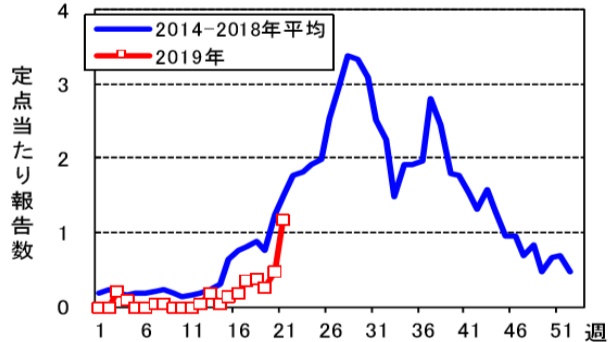
1. 手足口病

定点当たり1.17人の報告があり、急増しています。
手足口病は、口の中や手足などに水疱性の発しんが出るウイルス性の感染症です。乳幼児を中心に主に夏に流行し、咽頭結膜熱・ヘルパンギーナとともに、いわゆる「夏かぜ」の代表的な疾患となっています。
感染予防対策として、手洗いをしっかりとすること、排泄物を適切に処理すること、タオルの共有を避けることなどが大切です。

2. 梅毒

4件の報告があり、今年の累計は34件(男性22件、女性12件)となりました。

手足口病の流行状況



【参考】厚生労働省「手足口病に関するQ&A」
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekakukansenshou19/hfmd.html>

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
フィリ	インフルエンザ	5	0.14	0.23			小児科	流行性耳下腺炎	4	0.17	0.65		
小児科	咽頭結膜熱	21	0.91	0.72			眼科	RSウイルス感染症	7	0.30	0.14		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	69	3.00	3.79			眼科	急性出血性結膜炎	1	0.13	-		
	感染性胃腸炎	175	7.61	7.33			眼科	流行性角結膜炎	2	0.25	0.87		
	水痘	13	0.57	0.67			基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		
	手足口病	27	1.17	1.48			基幹	無菌性髄膜炎	-	-	-		
	伝染性紅斑	9	0.39	0.16			基幹	マイコプラズマ肺炎	-	-	0.11		
	突発性発しん	8	0.35	0.60			基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
	ヘルパンギーナ	10	0.43	0.56			基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.14	0.43		

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→	→	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	66	女性(60歳代)
4	レジオネラ症	1	6	女性(60歳代)・推定感染地域: 国外
5	ウイルス性肝炎	1	4	男性(30歳代)・B型
5	急性脳炎	1	13	男性(10歳未満)
5	侵襲性肺炎球菌感染症	2	20	女性(10歳未満)、男性(50歳代)
5	梅毒	4	34	男性(20歳代)、女性(20歳代)、女性(50歳代)、男性(60歳代)
5	百日咳	1	26	女性(10歳代)

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(38.4) 咽頭炎 頭痛 関節痛	54	女	2019/04/20	鼻汁	B型インフルエンザウイルス
手足口病	発熱(39.0) 口内炎 上気道炎 気管支炎 リンパ節腫脹	4	男	2019/04/06	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 咽頭炎 気管支炎 腹痛	9	女	2019/04/17	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
その他の消化器疾患	嘔吐	1	男	2019/04/11	糞便	アデノウイルス2型
その他の消化器疾患	腹痛	3	男	2019/04/14	糞便	アデノウイルス3型
その他の消化器疾患	嘔吐 腹痛	0	男	2019/04/15	糞便	アデノウイルス5型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載